

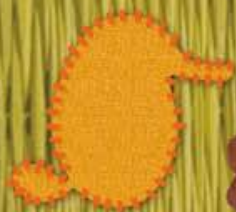
2008年度 年次報告書



ファクトリーに響く笑い声



カンボジアのファクトリーで働く女性たち



特定非営利活動法人
かものはしプロジェクト

すべての子どもや若者達が、 希望を持って生きられる世界を実現する



大学二年の夏休み、私はタイで一人の少女と出会いました。彼女は、母子感染によってエイズに感染していました。
彼女のお母さんは、10代のときに出嫁ぎ先で買春宿に売られ、エイズがもとで亡くなってしまったのです。
この時初めて、私は児童買春問題の現実と直面しました。

その2年後、カンボジアの児童買春の被害者を保護している施設で、
5歳や6歳の女の子までもが、買春の被害にあっているという驚愕の事実を知りました。
彼女たちは家が貧しかったために、買春宿に売り飛ばされ、抵抗できないよう電気ショックを
与えられながら無理やり働かされていたところを保護されたのです。

「こんなに小さな子どもたちが、どうしてつらい目にあわなければならないのか・・・」
どうしようもなくせつない、怒りと悲しみがこみ上げました。
私はすぐに行動を起こさなければ、と強く感じました。

同じく共同代表を務める本木・青木、そして活動とともにする仲間や多くのサポーターの方々に支えられながら、
「かものはしプロジェクト」を立ち上げ、運営してきました。
私たちは、子どもの身体及び精神に多大なる悪影響を与える児童買春・人身売買問題を解決することで、
すべての子どもや若者達が未来に希望を持って生きられる世界を実現していきます。

共同代表 村田早耶香



目次・ハイライト

カンボジアとかものはし.....3-4

コミュニティファクトリー事業...5-10

2008 年度から独自運営のファクトリーをスタートしました。脱落者もなく職業訓練を終え、約 30 名の女性達をワーカーとして雇用することができました。しかし、生産面や営業面で様々な問題が続出し、十分な対応ができなかったものもありました。そのため、売上や雇用人数といった数値目標を達成できなかったことが課題です。一方で、問題に向き合う中で、ワーカーやカンボジア人スタッフが大きく成長することができました。



女性達が働く、カンボジアのコミュニティファクトリー

IT 事業.....11

2008 年度も、2007 年度に引き続き、安定した成長を遂げることができました。かものはしの全事業を支える資金調達源として、しっかりと役割を果たしています。また、IT の技術を活かし、サポーター事業部と連携して、かものはしの WEB サイトの制作・運営を行っています。多くの方に児童買春・人身売買問題やかものはしの活動を知っていただくきっかけとなり、サポーターの増加に貢献しました。



HTML コーディングを行う IT 事業部のスタッフ

サポーター事業.....12-16

児童買春・人身売買問題や社会起業家への社会的関心が高まり、多くのメディアに取り上げていただくことができました。また、様々なイベントを行い、この問題やかものはしについて知っていただく機会を多く持ったことで、2008 年度は 1,321 名の方がサポーターになってくださいました。多くの方に支えられ、IT 事業と並び、かものはしの活動を支える柱として安定感を増すことができました。



二木会（月に一度の活動説明会）での記念写真

財務報告.....17-18

カンボジア児童買春・人身売買問題調査報告.....19-20

おわりに.....21-22



表紙・裏表紙はコミュニティファクトリーで制作した、い草のブックカバーをイメージしております。

【報告書制作】

編集：山元 圭太・石嶋 佑梨

デザイン：齊藤 亜樹

カンボジアとかものはし

コミュニティファクトリー事業

IT 事業

サポーター事業

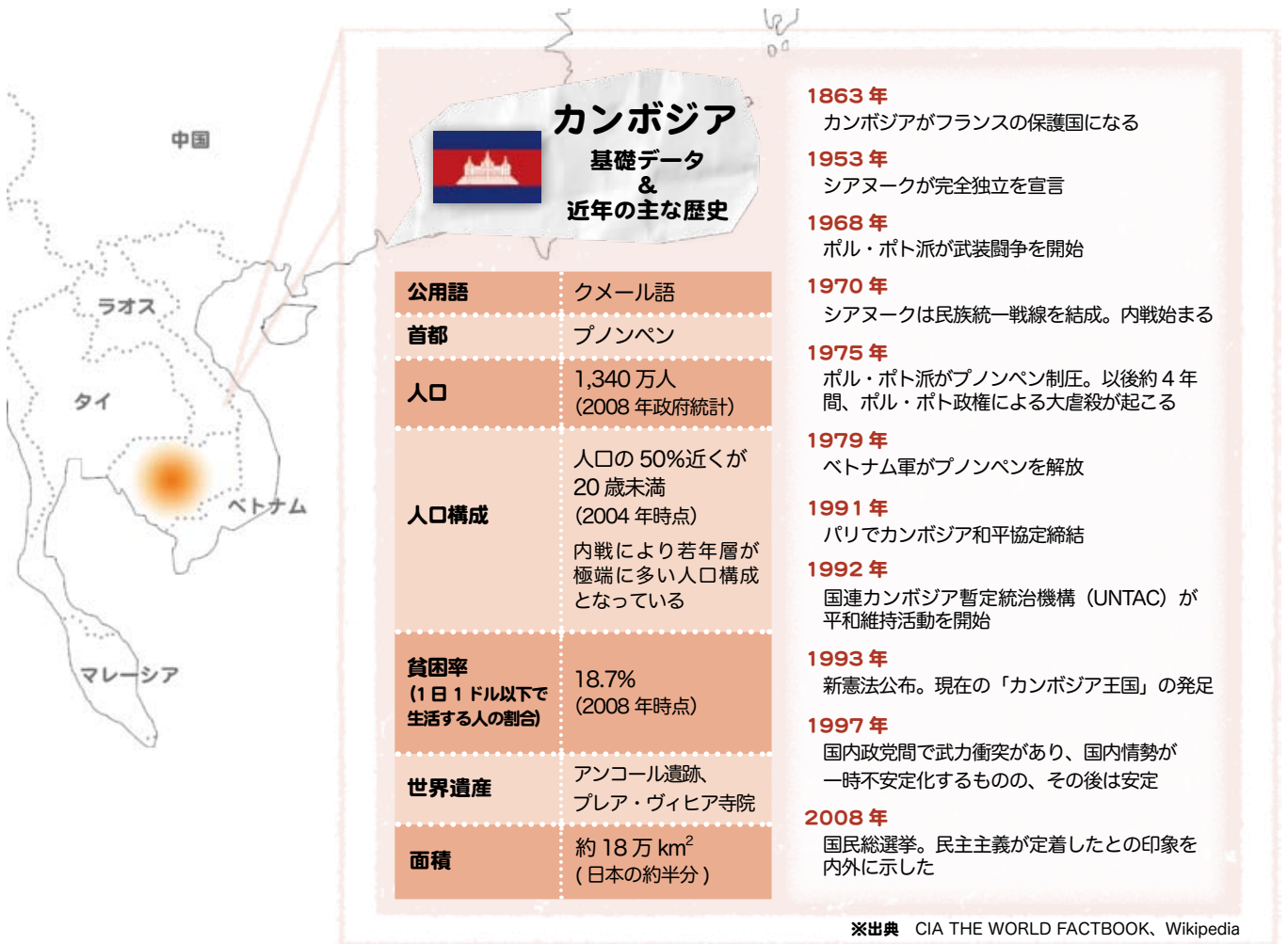
財務報告

児童買春・人身売買問題調査報告

おわりに

カンボジアと児童買春・人身売買問題

かものはしが活動を展開しているカンボジアと、取り組んでいる問題である児童買春・人身売買問題についてご紹介します。



児童買春・人身売買問題とは

人身売買の中でも

被害が深刻な「児童買春」

児童買春とは、18 歳未満の子どもを暴力や脅迫、もしくは騙し、金銭と引き換えに性的搾取を行うことです。これは、強制労働に類似のものとして、人身売買の一形態と捉えられています (ILO: 国際労働機関による)。また、子どもの身体や精神に著しい影響を与えることから、最悪の形態の児童労働と言われています。

身体面では、妊娠をはじめ、エイズや性感染症の危険に直面します。精神面では、買春が心の傷となり、時には自殺してしまう子どももいます。また、女性の婚前交渉が禁じられている地域では、被害者が差

別を受ける例も少なくありません。被害者の中には、男子もいます。この問題は闇に隠れており、なかなか正確な状況を掴むことができません。



※写真はイメージです

問題の根源は「貧困」

この問題の根底にあるのは、貧困です。特に農村部では、親が十分に家庭を支えることができず、子どもを売らざるを得ないことが起こりやすい状況にあります。

→ 詳細は【児童買春・人身売買問題調査報告】(19、20 ページ)をご覧ください

かものはしプロジェクトとは

団体概要



団体名	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
設立日	2002年7月18日 設立 2004年9月22日 NPO 法人格取得
役員	共同代表 村田 早耶香 本木 恵介 青木 健太 監事 平野 雅幸
常勤スタッフ数	32名（カンボジア：13名 日本：19名）（2009年4月時点）
事務所所在地	【日本】東京都渋谷区 【カンボジア】プノンペン、シェムリアップ
総収入	1億468万円（2008年度実績）

かものはしプロジェクトの沿革

- 2001年** 共同代表の村田（当時大学2年）、東南アジアでHIVに母子感染した少女に出会う。母親は買春宿に売られ、エイズがもとで亡くなっていた
- 2002年** 共同代表の青木・本木とともにプロジェクト始動。IT 職業訓練を軸とする事業を計画
- 2004年** NPO 法人として登記。プノンペンに事務所を開設。スタッフ2名を派遣し、子ども達を対象にPC（パソコン）スクールを始める
- 2006年** カンボジア農村部への進出を決め、コミュニティファクトリー事業に着手
- 2007年** 現地 NGO と提携し、ファクトリーを運営。しかし、現地 NGO との関係悪化でファクトリーが休止に
- 2008年** 独自運営のファクトリーを設立

事業内容

カンボジアでのコミュニティファクトリー事業と日本でのサポーター事業・IT事業の3つの事業により、自立性と成長性を持ち、ミッションの達成を可能とします。

コミュニティファクトリー事業

児童 買春・人身売買問題の根源である、カンボジアの農村部の貧困を解決するために、職業訓練と雇用を提供しています。村の女性達が安定した収入を得られるよう、雑貨の工房を事業として運営しています。

児童買春・人身売買問題解決への3つの事業

サポーター事業

国際 協力への参加の輪を広げるため、そして活動に必要な資金を獲得するために、会員事業の運営や、企業・その他 NGO 団体等との連携プロジェクトを企画・実施しています。また、多くの講演会やチャリティイベントにも参加し、児童買春・人身売買問題の現状を伝え、問題解決に向けた協力を呼びかけています。

IT事業

安定 した収益を上げ全事業を支えるために、日本で企業のWEBサイトの一部を制作（HTML コーディング）しています。業界ではトップクラスの実力と自負しています。

コミュニティファクトリー事業

Mission 使命

大人に仕事を、子どもに教育を

カンボジアの農村では、貧困ゆえに多くの子どもや女性が、児童買春・人身売買の危険にさらされています。この状況を解決するために、かものはしは、農村にコミュニティファクトリーというハンディクラフト製品を作る工房を設立し、村の女性達に職業訓練と雇用を提供しています。

ここで制作した商品をカンボジア国内や日本で販売し、得た利益で運営を自立的に行うことで、持続的な事業として展開していきます。

村の女性達に安定した現金収入の道を開くことで、彼女達が経済的に自立した生活をおくれるよう支援しています。その結果、貧しさゆえに子どもや女性が売られてしまう問題を未然に防ぎます。

コミュニティファクトリーモデル図



Episode

ファクトリーで働く女性のモノガタリ

かものはしが、私の未来に “希望”を与えてくれました！

スレイパウ（仮名）の家は、お金持ちです。でも、彼女はいつも汚い服を着ています。なぜなら、彼女には両親がおらず、親戚の家に兄弟と預けられているからです。親戚は彼女をいじめていました。一度、彼女がファクトリーを辞めてしまったことがありました。表向きの理由は「農作業で忙しいから」でしたが、本当の理由は、親戚の嫉妬でした。

彼女は未来に希望をもてない状況

にあり、親戚の嫌がらせがもっとひどくなれば、さらにひどい環境に落ちていたかもしれません。でも、そんな厳しい家庭環境の中でも、朝早く来て、ファクトリーの掃除をしています。そういった頑張り屋な面を、周囲は高く評価しています。

現在は、スタッフが親戚と交渉し、本人の希望を尊重して、ファクトリーで働いています。ファクトリーに戻った日、彼女は笑顔でこう言いました。

「私は、私の未来のために、がんばりたい」。



Goal 2008 年度目標 & 実績

【目標】

- * かものはし独自のファクトリーを設立・運営します
- * 2006～2008年度の3年間で100名(100世帯)の女性に向けて、職業訓練と雇用を提供します
- * 総収入 217 万円を達成します

【実績】

- * 6月より新ファクトリーがスタートしました。試行錯誤を繰り返しながらも、独自運営の基盤を固めることができました
- * 現在、**約 30 名**の女性が無事に職業訓練を終え、働いています(目標達成率: 約 **30%**)
- * 本年度の総収入は、**90 万円**でした(目標達成率: **41%**)

総括

2008 年 6 月以来、新しい活動地域であるクチャでかものはし初の独自のファクトリーを運営してきました。事業としては前進することができましたが、当初掲げていた目標に対して未達成な部分も多くありました。

雇用人数・売上が目標を大きく下回る結果に

ここ3年間で目標とした雇用人数を達成できなかった最大の要因は、2007 年度の現地 NGO との提携解消によるファクトリーの休止であり、これを 2008 年度も復活できなかったことです。また、売上未達成の要因でもあります。カンボジア市場での営業がうまくいかなかった

ため、赤字の状態女性達を安易に雇用できなかったこともあります。さらに、新地域のクチャで、より児童買春・人身売買の被害にあう危険性の高い女性を対象を絞ったところ、調査前に想定していた人数ほど対象者がいなかったことも要因の一つです。



プノンペンオフィスの様子
ファクトリーの運営について話しています

少しずつ見えてきた成果

その一方で、試行錯誤しながら、事業の基盤が固まりつつあると考えています。生産面では、商品の品質を向上させることに成功しました。この他、多種に及ぶ受注を管理することもできつつあります。また、営業面では、20 程度の高級ホテル・お土産店を開拓することができまし

た。訓練生の受け入れについては、村長と相談した上で候補者の家庭訪問を行い、調査する仕組みを構築しました。その結果、クチャでは児童買春・人身売買の被害にあう可能性の高い世帯をコミュニティファクトリー事業でほぼカバーすることができています。



いつも元気で、笑顔あふれるファクトリーの女性達

クチャ 紹介

かものはしのコミュニティファクトリーはクチャ コミュン (KHCHASS commune) にあります。

コミュンとは集合村のことで、クチャ コミュンは 7 つの村からできています

※ カンボジアの行政単位
province : 州 district : 地区
commune : 集合村 village : 村



総人口	8,401 人 (18 歳未満 : 3,295 人)
総世帯数	1,665 世帯 (女性が世帯主の家 : 238 世帯)
主な収入源	ほとんどが農業によるもの (しかし、土地を持っていない農民もいる。 「金持ち農民」のところで働き、収入を得る人も)
学校の数	6 校 (小学校 5 校、中学校 1 校) (8 割以上の子供達は就学しているが、 継続して通うことのできない人が多い)

(2006 年 教育省データ参照)

2006年度

コミュニティファクトリー事業スタート！

カンボジアの農村で現地 NGO と提携して、プロジェクトをスタートしました。土地探しに難航したり、村人の理解を得られなかったりと、様々な困難がありましたが、1月に何とかファクトリーが建ち、18名の女性を対象に職業訓練を実施しました。



2007年度

無念の活動休止、新たな地域へ展開！

2007年度は、提携先の現地 NGO を通して計50名の女性に対し、職業訓練と雇用を提供しました。しかし、活動方針の違いから提携していた現地 NGO との関係が悪化し、ファクトリーが休止に。再開に向けて交渉を継続しつつ、隣の地域に独自運営のファクトリーを立ち上げる準備を始めました。



2008年度

STEP ① かものはし独自のファクトリーが始動！

2008年5月。クチャで活動始めるために必要な行政手続きがようやく完了し、活動をスタートしました。何度も何度も足を運び、(時に言いがかりとしか思えないような)細かい修正を繰り返し、時には寄付金を要求されたりなど、一筋縄ではいきませんでした。積み重ねていった努力が実を結びました。



手続き完了後、かものはしの活動内容をクチャの村人達により深く理解してもらうために、ミーティングを行いました。参加者は村長、村の役人、訓練生候補とその親など、総勢50名程。そもそも村人達が集まるのか、私達は不安を抱えていましたが、彼らはかものはしの活動を理解し、歓迎してくれました。

訓練開始！新しい人生への第一歩

いよいよ職業訓練の初日を迎えました。行政手続きが遅れたことで、ファクトリーの建設が間に合わず、村長の家を借りて行いました。訓練生達は、互いに緊張しながらも、初めて触れるミシンやこれから学ぶことに目を輝かせていました。



そして、3ヶ月後、誰一人脱落することなく訓練を修了し、ワーカーとして働き始めました。自分が作った商品を手にしながら、彼女達はひとつひとつできることが増えていく喜びを噛みしめているようでした。

STEP ② カンボジア市場への挑戦！

かものほしでは、制作した商品の販売先として、積極的にカンボジア市場に挑戦したいと考えています。カンボジア人たちが主体となって持続的に運営していくためには、生産拠点に近い範囲で販売を行う必要があるからです。カンボジアには世界遺産アンコール遺跡があるため、観光客を対象に大きな売上が期待できます。

売れない！ 失敗から学んだこと

当初、カンボジア人スタッフが中心となり、お土産店などに営業に行きましたが、健闘むなしく不調に終わりました。品質不良や納期の遅延といった問題が生じたためです。



店頭に並ぶ
コミュニティファクトリーの商品

このような現実と直面して初めて、ワーカーや現地スタッフは、「品質の悪い商品は、農村ではよしとされても、市場では受け入れてもらえない」など、ビジネスとして挑戦する上で必要なことを肌で感じました。このことから、ワーカー一人ひとりの技術力の向上と、納期どおり安定した品質の商品を生産できるよう日々の生産管理や納期管理を徹底する必要がありますを学び、対策を打ち始めました。

努力の甲斐あって、取引先増加

一步一步努力を重ねていったところ、2009年2～3月にかけてカンボジアでのお取引先が急増しました！秋の営業開始時点では0件だった取引先が、今や約20件に増え、売上也一気に増加しました。



営業中のカンボジア人スタッフ

ワーカー達が経験を積み、またデザイナーをお招きし、技術的なアドバイスをいただいたことによって、全体の品質が向上したこと。そして、営業担当のスタッフが熱心に一件ずつ訪問営業し、取引先との関係を深めていった地道な努力が実を結んだのです。

日本市場での販売



カンボジア市場を補完するものという位置づけで、日本市場でも販売しました。各種団体様にい草のブックカバーなどを数百個ずつ卸した他、様々なイベントで販売を行いました。

品質とデザインの向上のために

～日本人デザイナー招聘～

商品の品質やデザイン性を高めるために、デザイナーの本告純子（もとおりじゅんこ）さんをファクトリーにお招きしました。

本告さんは、中国や韓国の雑貨の生産工場で指導した経験があり、デザインだけでなく作り方に関しても、訓練教師やワーカー達に直接ご指導くださいました。

完成した新商品は、バッグ、アクセサリケース、ペットボトルケースなど。他にはない、かものほし独自のデザインが、早くもカンボジア市場で好感触を得ています。

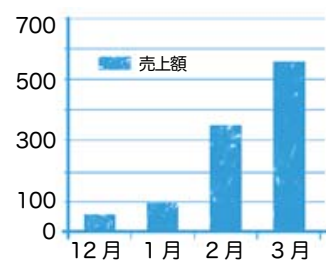


雑貨デザイナー
本告 純子さん



ペットボトルケース

カンボジア市場での売上額の推移
(単位：ドル)



STEP ③ 精神面でも大きく成長したワーカー達

成長したのは技術面だけではありません。ワーカーやカンボジア人スタッフの仕事に対する姿勢も変わってきました。彼らは、徐々に責任感や主体性を持つようになってきました。

2009年4月は、非常に高い品質を求められる仕事に追われていました。少しでも染色にムラがあったり、織り糸が見えるものは、取り扱ってもらえず、皆で何度も話し合い、思いつくやり方をすべて試しました。

全力を尽くしても、納品できる基準に達しない・・・悔し涙を流すワーカーもいました。しかし、誰一人逃げることなく休日返上で働き、なんとか乗り越えることができました。

職業訓練だけでなくビジネスとして実践する中で、彼女達は技術面はもちろん、精神面でも大きく成長しています。



識字教室開始

読み書きができるようになる喜び

ワーカーの多くは、満足に読み書きができません。そこで、毎日1時間ほど識字教室を行っています。ただ技術を得るだけではなく、自立して生きていくために必要な能力を身につけてほしいと思い、始めました。

Voice ワーカー・スタッフの声

Noeng Mick
ヌーン メック



私には、親も兄弟もいません。今は叔母さんと村で暮らしています。かものはしのファクトリーで働く前は、毎日の食事もやっとでした。

けれど、ファクトリーで働くようになってからは、毎月一定の収入ができました。

また、収入だけでなく、縫製の技術も身につきました。他の村から通っている女の子達と一緒に働けることも、とても楽しいです。

支援してくださっているサポーターの皆さま、本当にありがとうございます。

私の両親は高齢で、家族を支えるために十分な収入がありませんでした。でも、かものはしのファクトリーで働くようになって、私が家族を支えることができるようになりました。両親も、私が村で仕事をしていることに、とても安心しています。

ファクトリーでは、読み書きも学

ぶことができます。また、実際に私達の作った商品が売られている場所を見学したときは、とても嬉しかったです。

コミュニティファクトリーで働くことができ、私はとても幸せです！私達を支えてくれるすべてのサポーターの皆さまに感謝します。

Cheng Lep
チェン レップ



カンボジア人
スタッフ



ソヴァン

訓練を開始して、わずか1年ほどの間に、ワーカー達は技術面、精神面ともに見違えるほどに成長しました。特に、高い品質を求められる仕事に取り組む中で、彼女達はぐんと成長したように思います。思

うようにいなくても、責任を持って最後まで頑張ろうという姿勢が皆に見られました。このような人の社会人としての、彼女達の精神的な成長に、同じカンボジア人として大変嬉しく思っています。

1. コミュニティファクトリー事業の強化・拡大

- * ファクトリーの雇用人数を、さらに 20 名以上増やし、50 名以上に拡大します
- * より劣悪な環境にあり、児童買春・人身売買の被害にあう危険性の高い女性や家族を受け入れます
- * カンボジア人スタッフを含めた経営管理の強化を行います
- * い草商品の他に、パームリーフ（椰子の葉）などの商品も積極的に開発・展開します
- * 引き続き、専門家（デザイナー、生産管理者など）を招聘します
- * 職業訓練修了後やワーカーとして働いた後、女性達がスモールビジネスを立ち上げ、自立する可能性を探ります

2. 他団体との連携の促進

他団体との連携を通じ、事業の充実を目指します

- * より児童買春・人身売買の被害にあう危険性の高い女性を支援するために、シェルター（保護施設）事業を行っている団体と連携します
- * 女性の自立支援方法の幅を広げるために
雑貨制作以外の活動に取り組む団体と連携します
- * より直接的に児童買春・人身売買を撲滅するためにかもののはしが
持つ情報や資源を活用して、法執行の支援を行っている団体と連携します

※ 2007 年度に休止したチクライエン地区のファクトリーに関して

2007 年度、提携していた現地 NGO との関係悪化により、不本意ながら運営を休止してしまったチクライエン地区のファクトリーについて報告します。

2008 年度は、具体的な施策を講じることができませんでしたが、このファクトリーの元ワーカーであったホイが、12 月より現ファクトリーのい草染めコースの訓練教師として働いています。ワーカーが訓練教師になったというモデルとして、ワーカー達にとっても大きな影響を与えています。また、3 月には人

手が足りなくなったため、元ワーカー 5 名に応援を頼んだこともありまし
た。今後は、ホイを中心
にチクライエン地区
での活動を再開できな
いか検討していきたい
と考えています。



打ち合わせ中のホイ先生（左）

IT 事業

Mission 使命

- * カンボジアにおける活動を継続的に運営できるように、安定した事業収益を獲得します
- * IT を活用してサポーター事業部と連携し、かものはし全体の資金調達力を最大化します

Goal 2008 年度目標 & 実績

【目標】

- * 総収入 6,100 万円を達成します
- * サポーター事業部との連携プロジェクトを推進します

【実績】

- * 2008 年度の総収入は **5,980 万円**でした（目標達成率：**98%**）
- * かものはしの WEB サイトの制作・運営に大きく貢献しました

Action 活動内容

✓ 前年対比 107% と安定した成長を実現！



✓ 広がる「共感」の輪が
受注に繋がりました！

活動に共感してくださった株式会社大気社様から「かものはしに制作をお願いしたい」という依頼をいただきました。私達のミッションに共感し、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、お仕事を依頼していただいたことは初めてで（私達は通常、WEB 制作会社様と取引しています）、スタッフ一同大変嬉しく思いました。



* 株式会社大気社様 WEB サイト

✓ サポーター事業部との
連携プロジェクト実現！



* ホームページ本体サイト



* キャンペーンサイト

サポーター事業部とともに WEB サイトの制作や運営を行っています。そのおかげで、多くの方が活動に共感し、サポーターになってくださいました。また、イベントの際にも IT 面からサポートし、大盛況に終えることができました。

Voice 取引先・スタッフの声

かものはしさんと取引をしている WEB 制作会社カドベヤの長津です。WEB サイトの構築にいつも技術的な協力をいただいています。プロジェクトの困難な局面において、かものはしさんのフットワークとコミュニケーション能力にはいつも助かっています。今後もより情報共有と連携を深め、パートナーとして一緒に成長していければと思っています。

株式会社カドベヤ
長津 孝輔 様

kado
beya

昨年夏頃に、かものはしに巡り会いました。児童買春・人身売買の問題を知り、かものはしで働くことを決意しました。今年に入り、スタディーツアーでカンボジアを訪れ、ワーカーや現地の子供達とふれあい、彼らのことをずっと身近に感じました。IT 事業の収益が現地の活動を支えている。そのことに誇りを持っています！



IT 事業部
嶺山 郁世

サポーター事業

Mission 使命

* 子ども達の未来を守る仲間を集める

月々 1,000 円から支援して下さるサポーター（会員）を募りカンボジアの活動を支えます

* カンボジアと日本を結び、みんなの笑顔をつなげる

様々な取り組みを通じて、児童買春・人身売買問題について多くの方に知っていただき、国際協力の裾野を広げていきます

Goal 2008 年度目標 & 実績

【目標】

- * 活動を支えて下さるサポーターを、新たに 530 名増やします
- * 支援総額 2,522 万円を達成します
- * サポーターをはじめとした多くの方が気軽に参加できるイベントを多数実施し、児童買春・人身売買問題への認知を高めます

【実績】

- * 2008 年度はサポーター **1,321 名増**と、驚異的な伸びを見せました。今やサポーター総数は 2,000 名目前です！
- * 2008 年度の支援総額は、**4,109 万円**でした（目標達成率：**163%**）
- * 総会、クリスマスパーティーを始め、本年度も多くのイベントを行いました。特に、二木会（活動説明会）の参加者が大きく増加し、国際協力の裾野が着実に広がりを見せています

サポーター数
1,321 名増！

Supporters 広がる共感の輪

2008 年度は、私達の活動がメディアに大きく取り上げられたこともあり、サポーターが激増し、総数 2,000 名目前です！これは、これまでの活動の成果だけではなく、児童買春・人身売買問題や社会起業家などに対する社会的関心が高まったためだと考えます。

サポーターの皆さまは、熱心に支援して下さる方が多く、いただいたコメントを読んでいると、いつも元気をもらいます。これからも、皆さまとともにこの問題に取り組んでいきたいと思っています！



サポーター事業部
山元 圭太



サポーターからのメール

先日、雑誌で児童買春・人身売買問題についての記事を読み、涙をこらえることができませんでした。私には 5 歳の娘がおります。同じ年齢の子ども達がつらい状況に遭遇していると思うと、何かできないかと思うのは必然です。いわゆる「自己満足」かもしれませんが、子ども達が小さな幸せを見つけることができれば幸いです。

30 代女性、M.O さん

講演を拝聴し、カンボジアの子ども達とそれを取り巻く環境の劣悪さを知り、それを少しでも変革させようとする皆さまの支援活動に感銘を受けました。些細ではございますが、たばこをやめることにして、年間で浮いたお金を寄付させていただきます。

40 代男性、M.N さん

「闇の子供たち」を読み、かものはしへの支援を決めました。子ども達への支援は僕自身の自己肯定にもなります。

30 代男性、T.Y さん

カンボジアと
かものはし

コミュニティ
ファクトリー事業

IT 事業

サポーター事業

財務報告

児童買春・人身売買
問題調査報告

おわりに

楽しく学びあるイベントや、スタディーツアーなど、様々な取り組みを実施しました。

4月

4/20 チャリティーマラソン大会「パラカップ」共催

パラサイヨ（フィリピンの孤児達に対するサポート活動をしている団体）主催のチャリティーマラソン大会を共催しました。ランナーとしても、ボランティアとしても楽しめるイベントとなりました。



5月

6月

5/1～6/30 児童労働反対世界デー・キャンペーン 2008 に賛同

児童労働のない世界を目指し、賛同団体や企業が様々なイベントを行うキャンペーンに、かものはしも賛同しました。

7月

6/22 総会 2008

年に一度のかものはし総会。会場の参加者、スタッフが一体となって、カンボジアのことを考え、かものはしの今後を真剣に議論しました。



8月

9月

各種チャリティーイベント（多くのイベントで、児童買春・人身売買問題やかものはしについてアピールしました）

- 9/14 プラス・カスミッシモ（チャリティーコンサート）
- 9/21 HACHIDORI（チャリティークラブイベント）
- 10/26 COLOR RHYTHM（チャリティークラブイベント）
- 12/7 ASIAN HEAL JAM（チャリティークラブイベント）

10月

10/4, 5 国際協力 NGO の祭典「グローバルフェスタ」出展

スタディーツアー参加者や、「ゆるかも」を中心に毎年参加しています。2008年は、タピオカジュースとい草製品の販売を行いました。



11月

12月

1月

2月

3月



12/6 クリスマスパーティー 2008

老若男女問わず約 130 名もの方が参加！活動の報告に加え、チーム対抗クイズ選手権など、参加型のプログラムで、大いに盛り上がりました。



二木会



第二木曜日に行うから、二木会。月に一度の活動説明会です。参加者からのご紹介で、毎月 40 名程の方にご参加いただきました。

サンド会



第三土曜日といったら、サンド会。サポーター同士の交流のために、スポーツや映画鑑賞など、趣向を凝らしたイベントを行いました。

初の試み！

3/27 グループインタビュー

よりよいサポーター制度にするために、数人のサポーターの方々にオフィスに来ていただき、ワークショップ形式でご意見を伺いました。参加者のご意見に、新たな発見や気づきがあり、大変参考になりました。



スタディーツアー

“リアルなカンボジアを感じて欲しい”

NGO や孤児院、農村を訪問し、途上国の現状を自分の目で見て、耳で聞き、肌で感じ、心で考えることで、カンボジアを丸ごと体感できる魅力満載のツアーです。

毎年、春夏に計4回実施しています。2009年春までに20回催行し、2008年度は66名の方にご参加いただきました。今後は、サポーターの方にも多くご参加いただきたいとの思いから、連休にあわせた短期日程のツアーも実施していく予定です。

単なる観光ツアーでは見えないものを見て、聞けないことを聞くことができました。

2009年春・参加
20代女性



様々な場面で、自分が描いていたカンボジアと実際のカンボジアのギャップに考えさせられました。

2009年春・参加 20代男性

ゆるかも

“ゆる〜く国際協力？！”

ゆるかもは、有志の学生達により2007年1月に発足した、かものはしプロジェクトの姉妹団体です。

名前の由来は、「かものはしを取り巻くゆるやかな国際協力の輪」。誰もが参加できる、「敷居の低い国際協力」をモットーに活動しています。

主な活動は、第三土曜日に行っているチャリティイベント「サンド会」。毎回様々な企画を運営しています。



2008年度サンド会

- | | |
|-----|----------------------|
| 4月 | パラカップ参加 |
| 5月 | フェアトレード
ワークショップ |
| 7月 | カンボジア料理教室 |
| 8月 | フットサル大会 |
| 10月 | 団体説明会 |
| 11月 | ハイキング |
| 1月 | 映画鑑賞会『神の子たち』 |
| 2月 | カンボジア語講座 |
| 3月 | 映画鑑賞会
『キリングフィールド』 |

★興味のある方はこちらにご連絡ください！

連絡先：yurukamo@kamonohashi-project.net

Voice サポーターの声

片貝 孝夫さん サポーター3年目



かものはしを知ったのは、知人の紹介で代表の村田さんにお会いしたことがきっかけです。

話を聞いているうちに、涙がポロポロこぼれてきました。その時、「講演会をする機会がほしい」と頼まれましたが、「むしろ定期的に説明会を開いたらどうか」と提案し、二木会が発足したのです。最初の頃は必死で人集めをしましたが、正直ここまで支援の輪が広がるとは想像もしていませんでした。

私は、社会問題をビジネスの手法で解決する、かものはしのやり方に共感しています。これからもずっと支援していきますので、元気でがんばってください。

柏倉 美保子さん サポーター1年目



講演会で村田さんのお話を聞き、ビジネスとして自立を目指している点に共感し、サポーターになりました。自立の要であるコミュニティファクトリーの活動も見たいと考え第19回スタディーツアーにも参加しました。様々な現地事情を知れば知るほど、黒字を出す難しさを肌で感じました。

製品の工夫や戦略でいかに黒字に変えていけるか期待しつつ、できるだけ応援をしていこうと思っています。スタディーツアーの仲間達、スタッフとの出会いを通して、仕事に追われる毎日でも、お互い頑張ろうと思えるつながりが生まれた事に感謝しています。

掲載（出演）メディア&講演会一覧



「社会起業家」「社会貢献」などに対する社会的関心の高まりもあり、2008年度は数多くのメディアに取り上げていただきました！

掲載（出演）メディア一覧

テレビ

2008.7 テレビ東京系「カンブリア宮殿」 「世界を救う社会企業家たち！」
2008.10 NHK 教育「福祉ネットワーク」 「社会起業家の挑戦 -カンボジアの農村を救いたい-

新聞

2008.2 いいこと新聞
2008.8/9 福井新聞
2008.12 毎日新聞 筑後版
2009.1 読売新聞朝刊

雑誌

2008.2 読売ウィークリー 『新就職先「ソーシャルベンチャー」って何？』
2008.3 アントレ 「社会起業家のお金と生活」
2008.6 月刊 ニッキンマネー 「輝く」
2008.12 A・FLOW volume.2 「ワークスタイル研究所」
2009.2 クロワッサン 「あなたに伝えたい」
2009.4 ソトコト 「日本でもスタートできる！社会起業家入門。」
2009.4 週刊ダイヤモンド 「特集 社会起業家全仕事」

書籍

2008.4 「世界を良くする簡単な100の方法」(斎藤慎 著)
2008.6 「社会企業家に学べ！」(今一生 著)
2008.12 現代用語の基礎知識 2009

その他

2008.7 東京 FM (ラジオ)
2008.8 VOICE WAVE (WEB サイト)



講演会実績 計 80 回実施

- ・ 社団法人経済同友会
 - ・ 社団法人 関東ニュービジネス協議会
 - ・ 日本橋ロータリークラブ
 - ・ 高崎ロータリークラブ
 - ・ 福井ロータリークラブ
 - ・ 紀尾井町ロータリークラブ
 - ・ 調布ロータリークラブ
 - ・ 調布ライオンズクラブ
 - ・ 国際ソロプチミスト東京東
 - ・ 国際ソロプチミスト福島
 - ・ 児島青年会議所
 - ・ 富岡青年会議所
 - ・ 若人塾 など
- (敬称略 順不同)

協賛企業・団体一覧



ICAP 東短証券株式会社

弊社では、毎年チャリティデーを開催しており、当日の売上を社会貢献団体に寄付しております。

本年は社員の推薦で、かものはしさんに寄付をすることに致しました。ただ与えるだけでなく、経済的自立を支援している点や、事業収益を得て安定して運営している点、活動している方の熱意に共感しております。

プロジェクトの発展に貢献できることを社員一同嬉しく思っております。

御担当者様より



- ・ 株式会社アイエー
- ・ アイエスデンタルクリニック
- ・ 株式会社アイパッション
- ・ 株式会社アイバイピー
- ・ 株式会社アイル
- ・ あおばプロジェクト & NPO
さめき未来の会
- ・ 株式会社アークウェブ
- ・ ASIAN HEAL JAM
- ・ 株式会社アンナ
- ・ 株式会社 HR インスティテュート
- ・ エムユーシー株式会社
- ・ NPO 法人エンドレス・サマー
- ・ 大阪精密機械株式会社
- ・ 柏木建設株式会社
- ・ 価値開発株式会社
- ・ COLOR RHYTHM
- ・ 神田お玉ヶ池法律事務所
- ・ 株式会社 Coolware
- ・ KGF36
- ・ 有限会社グローバル・アイ
- ・ NPO 法人 ケア・センターやわらぎ
- ・ 国際ソロプチミスト東京東
- ・ 社団法人児島青年会議所
- ・ 株式会社コスモスモア
- ・ 株式会社サキコーポレーション
- ・ 株式会社サムライ・インキュベート
- ・ さわかみ投信株式会社
「長期投資の輪」
- ・ サンシャイン英会話
- ・ 認定 NPO 法人
JHP・学校をつくる会
- ・ 株式会社島本パートナーズ



株式会社セントラル総合研究所
Central Research Institute, Inc.

- ・ 司法書士法人新宿事務所
- ・ 株式会社ジャクバ
- ・ 株式会社スプリングボード
- ・ NPO 法人 すまひとプロジェクト
- ・ 住友生命保険相互会社
- ・ 聖ヨゼフ学園同窓会
- ・ 株式会社せおん
- ・ ソーシャルアライアンス株式会社
- ・ 高崎ロータリークラブ
- ・ 株式会社高谷建設
- ・ 高松ロータリークラブ
- ・ チャレチャリ
- ・ NPO 法人
チャリティ・プラットフォーム
- ・ 有限会社津野田建設
- ・ 株式会社道とん堀
- ・ 東京紀尾井町ロータリークラブ
- ・ 東京神田ロータリークラブ
- ・ 東京中小企業家同友会女性部有志
- ・ 東京調布ロータリークラブ
- ・ 東京調布ライオンズクラブ
- ・ 東京日本橋ロータリークラブ
- ・ 東京広尾ロータリークラブ
- ・ 東京四谷ロータリークラブ
- ・ 株式会社トキオ・ゲッツ
- ・ 豊島区倫理法人会
- ・ 社団法人日本経営士会
- ・ NEC
- ・ 日本電算機販売株式会社
- ・ 株式会社ニューテクノロジー
- ・ 社会福祉法人にんじんの会
- ・ 株式会社ノイロン
- ・ HACHIDORI



帝國製薬株式会社

- ・ パラサイヨ「パラカップ」
- ・ 久光ほっとハート倶楽部
- ・ ヒラタ工業株式会社
- ・ フェリス女学院大学 奨学会
- ・ フェリス女学院大学大学祭
実行委員会
- ・ フェリス女学院大学同窓会
- ・ 福井ロータリークラブ
- ・ 富士ゼロックス株式会社
- ・ 富士ゼロックス株式会社 端数クラブ
- ・ ブラス・カスミッシモ
- ・ 株式会社マインドトップ
- ・ 株式会社マジカルポケット
- ・ 株式会社松尾商行
- ・ 三井住友海上火災保険株式会社
- ・ 三井住友海上火災保険株式会社
スマイルハートクラブ
- ・ 宮崎市立大淀小学校 PTA
- ・ ヤフー株式会社 (Yahoo 募金)
- ・ 社団法人山形青年会議所
- ・ UBS 証券会社
- ・ 夢百姓振興協会
- ・ ユナイテッドピープル株式会社
(イーココロ！)
- ・ 横浜鶴峰ロータリークラブ
- ・ 横浜金沢東ロータリークラブ
- ・ 社団法人横浜青年会議所
- ・ 株式会社ロジコム
- ・ 社団法人和歌山青年会議所
- ・ 和歌山大学
- ・ 若人塾

(敬称略 五十音順)

カンボジアと
かものはし

コミュニティ
ファクトリー事業

IT 事業

サポーター事業

財務報告

児童買春・人身売買
問題調査報告

おわりに

財務報告

2008 年度決算

損益計算書

2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

(単位：万円)

科目	2008 年度決算	2008 年度予算	達成率
I 経常収入			
1 IT 事業	5,980	6,100	98%
2 サポーター事業	4,109	2,522	163%
3 スタディーツアー事業	168	45	374%
4 コミュニティファクトリー事業	90	217	41%
5 その他（為替差益、雑収入等）	122	0	-
経常収入合計	10,469	8,884	118%
II 経常支出			
1 IT 事業	3,007	3,540	85%
2 サポーター事業	1,903	797	239%
3 スタディーツアー事業	226	45	503%
4 日本事務局	1,899	1,681	113%
5 カンボジア事務局	1,244	1,110	112%
6 コミュニティファクトリー事業	452	1,029	44%
7 その他（消費税、為替差損等）	271		
経常支出合計	9,003	8,201	110%
経常収支差額	1,466	683	215%
III その他資金収入	0		
IV その他資金支出（法人税等）	133		
当期収支差額	1,332		
前期繰越収支差額	2,430		
次期繰越収支差額	3,762		

貸借対照表

2009 年 3 月 31 日時点

(単位：万円)

科目	金額	科目	金額
I 資産		II 負債	
1 流動資産		流動負債	
現金	187	未払金	371
預金	2,176	未払法人税等	133
売掛金	1,708	未払消費税等	244
その他	91	預り金	115
流動資産合計	4,161	流動負債合計	861
2 固定資産		III 正味財産	
建物	44	資本金	50
車両運搬具	7	前期繰越正味財産	1,959
差入保証金	411	当期正味財産増加額	1,332
固定資産合計	462	利益準備金	421
		正味財産合計	3,762
資産合計	4,623	負債および正味財産合計	4,623

* 建物はカンボジアのコミュニティファクトリー、差入保証金は日本事務所敷金礼金です

収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO 法人かものはしプロジェクトの収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。

監事

宇野 雅彦

2009 年 5 月 29 日

2009 年度予算

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日

(単位：万円)

科目	2009 年度予算	2008 年度決算	増減率
I 経常収入			
1 IT 事業	5,790	5,980	97%
2 サポーター事業	3,942	4,109	96%
3 スタディーツアー事業	144	168	86%
4 日本事務局	171	0	-
5 コミュニティファクトリー事業	200	90	222%
6 その他（為替差益、雑収入等）	0	122	-
経常収入合計	10,247	10,469	98%
II 経常支出			
1 IT 事業	4,320	3,007	144%
2 サポーター事業	1,772	1,903	93%
3 スタディーツアー事業	109	226	48%
4 日本事務局	2,016	1,899	106%
5 カンボジア事務局	862	1,244	69%
6 コミュニティファクトリー事業	1,112	452	246%
7 その他（消費税、為替差損等）	0	271	-
経常支出合計	10,191	9,003	112%
経常収支差額	56	1,466	4%

財務に関する分析

2008 年度決算

- ・ 経常収入合計は予算対比 118%、前年対比 128%の伸びとなり、初めて 1 億円を超えました。
- ・ 当期収支差額は予算対比 195%、前年度比 121%と、大きく成長することができました。
- ・ サポーター事業は、収支差額が前年度比 130%の成長となり IT 事業と並ぶ、より大きな収入の柱に成長しました。
- ・ コミュニティファクトリー事業は、目標の収入に達することができませんでした。
- ・ 各事業の達成度を考えると、コミュニティファクトリー事業に、より多くの人材、お金などの経営資源を投入するべきであったと考えられます。

*各事業の詳細については、該当ページをご参照ください。

- ・ 前期繰越金（内部留保）が増加していますが、今後も引き続き積み増していく予定です。固定費や売掛金が大きくなってきており、団体運営をより安定させるためです。
- ・ 法人税等・消費税に関しては前年度より大幅に増加し 403 万円となりました。法人税等 159 万円と、2008 年度から発生した消費税 244 万円が含まれています。

*事務局の支出は課税対象（IT 事業等）と非課税対象（サポーター事業等）の間で、収入比率に応じて按分しています。

2009 年度予算

- ・ 不況の影響で寄付金や IT 事業の受注が減少する可能性を見込み、予算策定を行いました。
- ・ 特に IT 事業で支出が増大していますが、全社的に給与水準をアップさせたことにくわえ、安定的な受注をめざし協会会社への発注費を積み増しているためです。

*事務局の収入は、6 月に出版予定の書籍の印税など全社的な広報活動による収入を想定しています

* 10,000 円未満は四捨五入しているため、数字の合計が一致しません

カンボジアと
かものほし

コミュニティ
ファクトリー事業

IT 事業

サポーター事業

財務報告

児童買春・人身売買
問題調査報告

おわりに

カンボジア児童買春・ 人身売買問題調査報告

かものはしでは、私達が取り組む問題を正確に把握し、よりよい解決策を導き出すために、継続して問題に対する調査を行っています。この問題は闇に隠れており、正確な

状況を把握することが困難ですが、2008年度までの調査から、カンボジアの児童買春・人身売買問題について以下のような事実が分かってきました。

ポイント

- 1 カンボジアの児童買春問題は解決傾向にある
- 2 しかし、「国際型」は依然として減りにくく、「間接型」が新たに出現している
- 3 また、人身売買やその原因となる貧困は未だ根強く存在している

ポイント① カンボジアの児童買春問題は解決傾向にある

カンボジアで子どもを買うことは難しくなっています。現地スタッフによる買春宿調査の結果からも、買うことができる場所は圧倒的に減っていると確認しました。

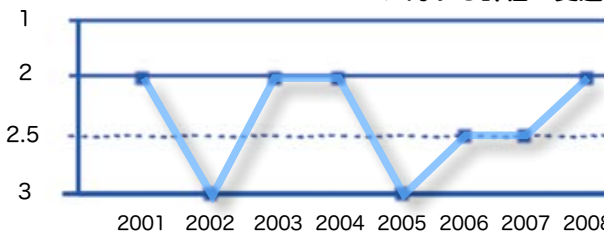
2008年に反人身売買法が改正、そして、カンボジア内務省に設置された取締局による摘発が増えるなど、法執行が強化されたことも大きな要因です。これは、NGOや国際機関、そして国際社会からの働きかけの結果でした。

その最たるものの一つは、アメリカ政府でした。カンボジア政府に、問題に対する取り組みに応じて、政府支援資金を削減・拒否するという働きかけをしたのです。

また、もう1つの背景には、カンボジア国内の経済成長があります。徐々にではありますが、子どもが強制的に身体を売らずとも、家族で収入を得ることができるようになってきているからです。

しかし、今の状況は非常に脆弱な基盤の上に成り立っており、今後については楽観視はできないと考えています。例えば、経済的不況に直面した場合、失業者が一気に増加し、生活苦から再び子どもを売らざるを得ない状況に陥る可能性が十分にあり得ます。

「カンボジア政府の人身売買に対する取り組み」
に対する評価の変遷



出典：The 2008 Trafficking in Persons report (アメリカ国務省)

アメリカ国務省が発行する

「The 2008 Trafficking in Persons report」では、各国政府の人身売買に対する取り組みを1～3ランクで評価しています。

第1ランク	「取り組みのあり方が国際基準を充たしている国」
第2ランク	「人権問題に対する取り組みを行っている（最低限の法律と取り締まる組織がある）国」
第2.5ランク	「人権問題に対する取り組みを行っている（最低限の法律と取り締まる組織がある）が、一部の人権問題は明らかに悪化している国」
第3ランク	「人身売買撲滅に向けた最低限の取り組み基準さえ遵守できていない国」

2008年、カンボジアは2004年以来の第2ランクとなりました。（上図参照）

法執行の強化によりロシア人実業家を逮捕

2007年、カンボジアで19名の少女に対して性的な暴力をふるったとして、41歳のロシア人実業家が逮捕されました。被害者は、11歳～14歳が11人、15歳～18歳が8名でした。カンボジア内務省反人身売買局は、「外国人が

関与した児童買春事件としてはカンボジアでは最悪のケースである」と述べています。今回のように、外国人富裕層の逮捕は法執行が強化された成果の一つと言えます。現在、裁判所で審議が続いています。

ポイント② しかし、「国際型」は依然として減りにくく、「間接型」が新たに出てきている

国際型

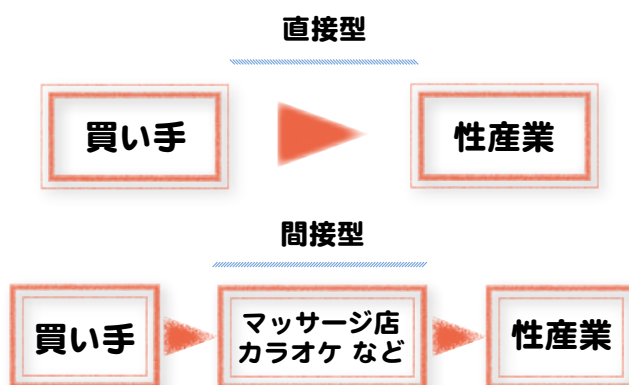
タイに出稼ぎするために違法に国境を越えた子ども達が被害にあうといったケースです。この場合、子ども達は移民法では違法者となり、弱い立場におかれるため被害にあうのです。国連機関（UNIAP）が主催する反人身売買会議で、こういったケースが依然として残っていると報告されています。



※写真はイメージです

間接型

カンボジアでは、買春宿で子どもや女性を直接買うのではなく、マッサージ店やカラオケなどで買う「間接型」と言われるタイプが増えてきています。これは、政府や民間の取り組み強化などの努力により、買春宿が摘発、閉鎖されるようになったからです。より問題の現状を把握するのが難しくなっています。



ポイント③ また、人身売買やその原因となる貧困は未だ根強く存在している

様々な報告書や他 NGO 団体へのヒアリングを通じて、深刻な貧困状態にいる人々が今も一定数いることを確認しています。

例えば、ギャンブルやお酒に溺れていた夫から DV（家庭内暴力）を受け、離婚し、幼い子ども達とともに家を出た 30 歳シングルマザーのカンボジア人女性です。彼女には、

7 歳の男の子と 4 歳の女の子がいます。息子は遠い親戚の家に預け、彼女と娘は別の親戚の家にお世話になっています。しかし、その状況も長くは続けられないとのことでした。

このような人々は、土地や家もなく、一家に働き手もないため、極度に生活が苦しく、児童買春・人身売買の被害にあう可能性の高い状況に追い込まれてしまいます。

調査結果を受けて

カンボジア以外にも児童買春・人身売買問題が深刻な状況の国は多数あります。前出の「The 2008 Trafficking in Persons report」によると、カンボジアより評価の低い第 3 ランクに、ミャンマー、北朝鮮、パプアニューギ

ニアなどが、次に評価の低い国として、中国、インド、マレーシア、スリランカなどがあげられています。このような現状の中で、かものはしは・・・

- * カンボジア国内の貧困層の中でもより深刻な状況にある人々を、支援するために事業を強化する
- * 児童買春・人身売買問題が深刻な状況にある他国にも展開する

などの可能性を模索しながら活動を続けてまいります。

アドバイザーコメント

かものはしプロジェクト

では、各分野でご活躍されている方々に定期的にお集まりいただき、事業改善のためのアドバイスをいただいています。2008年度の活動の評価と課題に関して、各アドバイザーからのコメントをいただきました。（敬称略 五十音順）

ビジョン実現への自己変革力に期待

石関 正浩
国際 NGO
元カンボジア駐在員

コミュニティファクトリー事業が、狭い意味での事業としては回り始めた。これは組織として事業経験を積む上で、また知名度を上げる上で良かったと思う。今後は、児童買春・人身売買問題の変化に対応して、実現したいビジョンと実際の事業活動との整合性をもう一段階上げることには注力すべきである。かものはしは、この課題をなおざりにすることなく、真摯に捉えビジョン実現のため、より効果的な活動を模索している。この自己変革力に魅力を感じるとともに、期待している。



世界に認められる国際協力 NGO へ

鵜尾 雅隆
株式会社ファンドレックス
代表取締役

日本社会における社会起業家の旗手として期待感を背負ったかものはしは、次は国際協力においても日本を代表するモデルを構築できる団体になっていくステージです。ここは、どの団体にとっても大変なチャレンジであり、世界中の団体が苦勞しているところ。しかし、「自分達にはできる」という信念のあるかものはしでいる限り、必ず日本を代表し、世界に認められる国際協力 NGO になる日を実現することができると考えています。



ミッションの原点に戻り 先を睨んだ施策が必要

岡崎 邦明
有限会社アルゴソフト
代表取締役

努力の結果、ミッションを追求しながら、収益目標はほぼ達成できたと思います。来年度は、かものはしのミッションの原点に戻って、達成の尺度を決めて活動して下さい。今後は、市場の変化に追従できるよう、現在の IT 事業の質的向上や新分野の事業開発を進めるような先を睨んだ施策が必要です。皆さんがそれぞれ専門スキルを身につけ、将来さらに発展されることを期待しています。



組織拡大にあたり マネジメント手法の変革が課題

小城 武彦
東証一部上場会社
代表取締役社長

自力で立ち上げたコミュニティファクトリーの商品の品質が格段に向上したことは称賛に値する。現地の日本人スタッフとカンボジア人スタッフのチームワークがもたらした成果であろう。今後、組織が拡大していく中で、マネジメントの手法自体も変化していかなければならない。2009年度は、それにチャレンジする年になるのではないかな。



多くの人々に希望と勇気を 与えている

越 純一郎
株式会社せおん
代表取締役

2008年度には3つの事業とも、少しずつ基盤が強化されてきたことが認められると思います。それだけでなく、かものはしの活動は、関与するさまざまな人々に希望と勇気を与えること、メンバーなどの若者達が成長していくこと、並びに将来の日本とカンボジアの友好関係の基礎を形成していることが尊いことだと思います。



組織の成熟度を意識した 業務運営を

島田 洋之
金融系 IT 関連会社役員

この一年、色々難局を乗り越えながらも着実に成長した。その結果が成果にも繋がって来ていると思う。かものはしが悩みながらも目標達成に向け必死に活動した結果だ。この活動を通じて、各個人や組織が成長してきている。この成長が健やかであるように、またその方向がぶれないようにと念じている。2009年度は、高く熱い志を失うことなく、より「組織の成熟度」を意識した業務運営を図ってほしい。



激増したサポーターの力を 活動に活かして

鈴木 敦子
NPO 法人 ETIC. 事務局長

2008年、かものはしプロジェクトは社会起業家の旗手として注目をあびてきたと思います。その時にきちんとメッセージ発信していたことで共感を得ることができ、サポーターが増えたのは素晴らしいことだと思います。今後、より期待したいのはそのサポーター達の力をもっと活かすこと。日本人の志をもっと世界に還元できるようなこともかものはしプロジェクトならできるのでは？と勝手に期待しております！



国内の好調に甘えず 現地の状況を打破せよ

高橋 義孝
経営コンサルタント

昨年の IT 事業に加え、サポーター事業も伸びてきたことは、日本での活動に安定感を生んだ。一方で、現地の活動の進捗は順調に進んでいるとは言い難い。昨年は、CSR（企業の社会的責任）や他団体の様々なカンボジアへの支援活動が注目を浴びた。そういった状況下で、国内の好調に甘えず、自らの存在意義を確認し、事業領域、体制および活動内容を再構築し、現地の状況を打破することを期待している。



代表挨拶

児童買春・人身売買の悲劇をなくすため 今後ともお力をお貸しください

皆さまのご支援のおかげで、独自のファクトリーを運営し、前進することができました。本当にありがとうございます。

カンボジア政府による法執行強化のおかげで、国全体としての取り組みは進みましたが、経済的な理由から買春せざるを得ない人々はまだ0ではありません。

私達の役割は、児童買春・人身売買問題の被害者を減らすことです。これらは、きちんと取り組めば絶対になくなる問題です。今後は、同じ問題に取り組んでいる他団体とも協力し、被害を減らしていきたいと思います。引き続き、皆さまのお力をお貸しください。



共同代表 村田 早耶香



女性達一人ひとりを大切にしながら 事業のさらなる充実を図る



女性達の喜びや頑張り、涙に囲まれた2008年度でした。給与をもらった次の日には遠いマーケットへと自転車をこぎ、安い（中古の）服を買って喜んでいるトイ。父親が亡くなり、自分も病気になり、しかし、その中で必死に頑張り、成長したチャンパイ。忘れられません。

現場にいと充実はするのですが、同時に自分のリーダーシップの弱さ、実行力に欠けていることを痛感した年でもありました。2009年度にはより厳しい状況にある人達に出会います。一人ひとりを大切にしながら、事業として充実するよう努力していきます。

共同代表 本木 恵介

変化を見据え 多くの笑顔を生み出すために



私にとって2008年度は変化の年でした。事業の成長とともに、私自身の役割もIT事業、サポーター事業、そして2009年度からはコミュニティファクトリー事業へと大きく変化することとなりました。今後は、今まで以上に、現地でワーカー達と働くことを楽しみにしております。

2009年度は今後3年間の活動を占う節目となる年です。カンボジアの問題状況をはじめとした多くの変化を見据えながら、一步ずつ、皆さまのご支援を現地の笑顔に変えていければと思っております。

共同代表 青木 健太

カンボジアと
かものはし

コミュニティ
ファクトリー事業

IT事業

サポーター事業

財務報告

児童買春・人身売買
問題調査報告

おわりに

この報告書は
印刷会社様の寄付金により
印刷しております。

こちらから、かものはしプロジェクト
の情報をご覧いただくことができます。
また、「サポーター会員」のお申し込み
もできます！



*** 団体名 ***

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

*** 連絡先 ***

TEL : 03-6415-7744 FAX : 03-6415-7745

E-MAIL : info@kamonohashi-project.net

URL : <http://www.kamonohashi-project.net>

*** 日本事務所所在地 ***

〒 150-0031 東京都渋谷区桜丘町 31-8 渋谷ビレッヂ南平台 2F
京王井ノ頭線神泉駅 徒歩 6 分 / JR 渋谷駅 徒歩 7 分